

隠れた「光を求めて」⑥ ふるさとの「まつり、

JN協会理事・東海旅客鉄道株式会社 相談役 須田 寛

「村の鎮守の神様の今日 はめでたいおまつり日、と小学校唱歌の名曲「むらまつり」でも歌われているように日本では古来殆どの町や村でいわばふるさとの「まつり、として地域の守護神―氏神さまの村祭りが伝統行事として引き継がれてきた。農産物の収穫を神のめぐみとして感謝することを起源とするこれらの祭りは、地元の人々の祭りを盛上げるための様々な仕掛け、みこし等の造作物へのちえと工夫を今に伝えているものが多いなかには文化財としての価値の高いものも多く、伝統民族文化財に指定されたまつりもある。そしてそのきらびやかな演出等が多くの観光客をよび、今では全国から数十万の人を集める大祭にまで発展したものも散見される。

各地に今も伝わる素朴な村祭りを訪れる観光客もすこしずつ外国人も含めて増加してきた。ある地方では「村まつりマップ」を作ったり、近隣地域毎にまつりの日程調整をして観光しやすいようにしたところ訪問客が著増した等もみうけられる。

「まつりは、それぞれの町村によってすべてその趣向が異なっておりどこをみても飽きることがないとは自称、村まつりマニアの声でもある。

「まつりは、宗教行事で他地方の観光客を積極的に拝観に勧誘しようという発想がなく、あまり知られていなかったものが多い。全国津々浦々にまで観光客に訪れてもらおうというオールジャパン観光が期待される今、この村祭りへの観光客の訪問があらためて期待されるようになった。

一方地方でも人手不足が浸透してきたため「まつり、の担い手が不足、とくにみこしのかつぎ手がいらないため巡行を中止するなどの例も出てきた。

隠れた文化財とも言われる「村まつり、を継承していくために、又より多くの人々が訪れやすくするために、ま



国の重要無形民俗文化財重要文化財愛知県犬山市「犬山祭の山車行事」 写真：Wikipedia

つりを地域ごとの実行委員会等によってその実体を把握したうえ、日程調整等も行ない特定日への集中を避け万遍なく訪問できるようにすると共にまつりの内容、由緒等を記した情報を集約発信することが必要と考えられるに至った。中部地域では、地域内各地で盛んに行なわれる「^{だしまつり}山車祭り」に着目「山車からくり街道連絡協議会」を自治体・観光団体が参加して結成、情報の収集発信を行なった。中部には360箇所です山車祭まつりが行なわれ全国の約3割を占めるといわれる。これを地図上に示したうえ「山車祭歳時記」と名付けた日程表をまとめて発信して集客に努めている。〈国の広域観光周遊ルート形成促進事業にも認定〉。

又、能登半島の夏まつり「キリコの祭」についても数年前から地元の観光団体、県が中心になって日程調整と情報発信を行い観光客増加をもたらした実績がある。

このようなまつりの情報発信、日程調整は人手不足の現在、まつりを支える人材の共用<融通>も可能となるほか神のめぐみを感謝するまつりがさらに多く、めぐみをその地にもたらず効果もあり、各地でも同様な取組みが進み始めた。

かくれた観光資源であった「村まつり、もこのように脚光を浴び、一部は地域の重要な観光資源として定着しつつあることは心強い。

(注)まつりは宗教行事なので観光の対象ではないという意見がある。しかし観光は重要な文化活動であり経済活動であると考えられる。従ってまつりに観光客が訪れ場合によっては観光客も参加することは人的交流を促進する文化活動で、そのような観光はまさにまつりの趣旨にそった行動といえよう。

28連敗の末、後楽園でジャイアンツを完封し、漸く長いトンネルから抜け出ることができた。グラウンドとスタンド一体となった熱い祝福ムードの中で、少年は権藤投手が胴上げされた興奮の渦の中に巻き込まれていた。

中学生になって町の少年野球大会に出て夢は一気にエスカレートし甲子園に憧れた。折も折父親が京都へ転勤したのを機に甲子園常連校の付属中に転入した。これで甲子園へ一歩近づいたと思った。だが、悲しいかな、伝統ある名門中学野球部へは中途入部できないまま、暫くして父親が東京へ戻ることになり、京都を離れなければならないとなった。

それでも「野球大魔神」は少年を見捨てはしなかった。夢の中の大舞台を現実に見せてくれたのだ。1956年夏、甲子園と京都から遠く離れた高校生の目をくぎ付けにしたのは、夢想だにできなかった光景だった。なんとテレビ画面に、かつてともに学んだ中学の同級生が深紅の優勝旗を手に甲子園のグラウンドを誇らしげに行進する姿があった。そこには見知った顔がいくつもあった。少年はテレビから流れる懐かしい校歌に合わせて壘声を張り上げた。あゝ！もう少し野球が上手かったら栄えある甲子園優勝メンバーになれたのに・・・。

エッセイスト 近藤節夫

ポーランド大使館で観光立国大使館セミナー開催！

日本・ポーランド国交樹立100周年を記念して「ポーランドの魅力」を学ぶ

9月13日東京恵比寿にあるポーランド大使館で、当協会主催ポーランド大使館の協力のもと「観光立国大使館セミナー」が開催された。当日は冒頭ラドスワフ・ティシュキエヴィッチ ポーランド共和国臨時代理大使が挨拶され、今年が日本とポーランドの国交樹立100年を迎え、様々な行事が計画されている事や昨年同国を訪れた日本人観光客は10万人に達したと紹介された。その後、「映像で巡るポーランドの観光名所」という短いスライドを鑑賞し、ポーランド広報文化センター所長のマリア・ジュラフスカさんから「ポーランドの偉人と日本・ポーランドの関係」に関するプレゼンテーションがあった。ポーランドは欧州の中心に位置し、面積は日本とほぼ同じ位で人口は3800万人である。ポーランドの偉人として有名なのは、15―16世紀に活躍した天文学者コペルニクス、ノーベル賞を2度受賞した物理学者のキュリー夫人、そして音楽家のショパンである。ポーランドは欧州随一の親日国である。その理由は第一次世界大戦末期、シベリアで困窮していたポーランド人孤児765名を帝国陸軍と日本赤十字社が救出して、母国ポーランドに送り届けた事で、その返礼に75年後に阪神淡路大震災の孤児たちがポーランドに招かれ歓



ラドスワフ・ティシュキエヴィッチ ポーランド共和国臨時代理大使

第155回 観光立国セミナー 「生涯学習社会の課題」

現代教育行政研究会代表・元文部科学省事務次官 前川 喜平氏

前川さんは38年間文部科学省に勤務され、2年半前に事務次官を最後に退官された。

学ぶことは人間の本能であり、基本的な人権である。憲法及び教育基本法には、教育について、人は等しく教育を受ける権利があると定められている。差別することは許されないのである。国はすべての人(子供)に無償で普通教育を受ける機会を与える義務がある。

戦後、学齢期に、昼間働かなければ生活できなかった子供たちの為に1955年頃から「夜間中学」が各地で開設されたが、65年頃には高度成長期に入り、夜間中学に通う生徒は減った。その後、70年頃から中国残留孤児の帰国が始まり、日本語が出来ない彼らが、夜間中学で日本語を学ぶようになり、大人の入学が増えた。しかし義務教育は15歳までなので卒業資格を取得できないという問題が持ち上がり、形式卒業者と見なすようになった。現在では、中国人やネパール人が多く学んでいる。義務教育という言葉が誤解を与えている面もあるので、無償普通教育と言葉を使用すべきである。何故なら現在義務教育は国籍、年齢に制限があるが、知る権利、学ぶ権利は人の基本的な権利であり、多文化、他民族共生社会が出現している日本ではすべてに人への教育が必要である。

生涯学ぶ知識を得るという「生涯学習」という言葉は1980年代から使われ始めた。時の中曽根内閣が臨時教育委員会を

待受けたのである。

後半はトマシュ・フェドロヴィッチポーランド政府観光局東京事務所長から「ポーランドの主な観光名所」についてプレゼンテーションがあった。ロンリープラネット社の調査によるとポーランドは観光客訪問地として常にトップ20に入っており、



マリア・ジュラフスカ ポーランド広報文化センター所長

昨年は1830万人が訪れた。現在ポーランドには新しく認定されたものも含めて16のユネスコ世界遺産がある。人気の観光地は、



トマシュ・フェドロヴィッチ ポーランド政府観光局東京事務所長

歴史地区を復元したワルシャワと何世紀も昔の建物が残るクラクフ歴史地区であるが、中世都市でコペルニクスの生誕地でもあるトルン、世界最大のレンガ建築を誇るマルボルクのチュートン騎士団城や世界を震撼させたナチスの死の収容所アウシュヴィッツ・ビルケナウ強制収容所なども必見である。又、希少動物ヨーロッパバイソンが生息する原生林や貴重な自然を保つ生物圏保護区も沢山存在している。各地にお城を改装した高級な宿泊施設もあるので、是非ポーランドを訪れて、素晴らしい自然と観光資源を自らの目で確かめて頂きたい。

講演の終了後は、ポーランド料理の軽食とお茶が提供され、出席者と大使館員との交流が行われ、活発な質問がかわされた。

開き、教育改革の三つの視点をまとめた。

1)個人の個性を大切にする
2)生涯学習体制への移行
3)変化への対応を主体的に考える教育
の方針が示されこの言葉が使用されるようになった。この教育改革は、それまでの詰め込み教育、とりわけ全国学力テストの弊害(各県が競争して自分の県の成績上げようとする)の反省から「ゆとり教育」へ舵を切ったものであった。今はバッシングを受けているゆとり教育であるが、元々は知識を与え、自分で考える力を養う、ACTIVE LEARNING(能動的に学ぶ)を目指したのである。教師自身が自ら学び続け、生徒に学ぶ楽しみを与え、学ぶことが楽しくすることが大切なのである。

生涯学習を続ける効果は、個人に対する効果と共に、社会に対する効果も大きい。学ばない人間は騙されやすいのである。学びを続けている人は自分で判断することの大切さを身に着けることが出来るのである。

講演後の質疑応答ではフロアーからモリカケ問題など様々な質問が出され、時間を大幅に超過するほどの熱気であった。

第156回観光立国セミナー開催のお知らせ

第156回観光立国セミナーを10月11日<金>12:00より海事センタービル2階会議室にて開催。要事前予約。

講師：高 康治氏 (世界の人物館主催者、275カ国・地域を訪れたワールド・トラベラー)

演題：「テレビが報道しない世界の真実」

参加費：会員/1,000円 一般/2,000円 ※昼食(弁当)付き

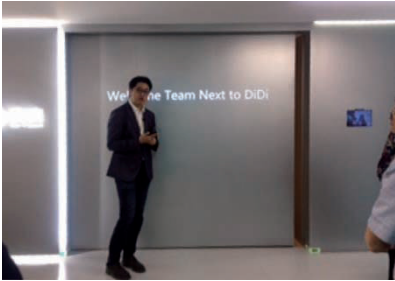
DiDi (滴滴) 及び清華大学で考えさせられた無人運転車



観光学博士 寺前 秀一

筆者の参加しているタクシー事業者等の研究グループ(チームネクスト)で、恒例の海外視察に参加した。目的の配車アプリなどは改善段階問題に進化しており、DiDiや清華大の眼は完全に自動運転車に向けられていた。車ではなく運転者の脳内反応をどう解明し、実用化するか、つまり無人運転である。そのためには説得力あるデータが必要であり、膨大なデータ収集・解析が行われている。一昔前は営業車もデータ収集レベルに優位性があったが、今やそんなレベルではない。無人運転には、Uber等が集めているデータですら社会的説得力を持たない。北京の清華大の王教授の研究室を訪問し、重慶・北京間連続2千キロの自動運転車のデータ収集に成功したほか、歩行者と自転車とを識別するアルゴリズムの解明に成功したことを知った。カーレーサーの技能のアルゴリズムも解明しているようであり、近未来にカーレーサー、レースクウィーンは失業し、レースはロボコン化する。タクシーも運転手が失業するのではなく、タクシービジネスが大変質するのである。DiDiはそれがよくわかっているから、無人運転技術開発に参加しているのであろう。

字句「無人運転タクシー」も矛盾に満ちている。無人運転の時代には、自家用車と営業車(運送により直接の対価を得るもの)の区別はなくなる。公共空間



である道路を運転者なしで走行している車の所有権、管理権が誰に属しているかということだけである。いわば、マイカーであるかレンタカーであるかということだけである。勿論国際運転免許は不要となる。デジタル技術を駆使すれば、公共空間利用度が正確に測定できるから、軽油諸税等営業用優先制度が問題視されるかもしれない。巨大な人流社会を形成している中国だから、無人運転データおよびそれを解析する人材も世界のトップを走ることが可能である。

ロンドン、ニューヨーク、マニラ、モスクワとチームネクストは視察を続けているが、北京では無人運転について大いに考えさせられた。

JNパスワード	ユーザー名	パスワード
JN協会 Web サイト、トップページ右上の会員ページボタンよりログイン画面に進み、ユーザー名・パスワードを入れてログインして下さい。		

須田寛 JR東海相談役 福井県大野市で講演

当協会理事の須田寛氏は、9月17日の福井県大野市において、JN協会派遣講師として講演を行なった。



大野商工会議所主催の下、「産業観光のすすめ—ものづくりの観光」をテーマに大野市石山志保市長列席のなか開催のはこびとなった。須田氏は産業観光の提唱者のひとりとして、地元産業を活かした「産業観光」のヒントとなる助言を語った。

はじめに産業観光とは「産業遺産、生産現場、産業製品を観光資源とし、人的交流をはかる観光をいう」と語り、大野の産業観光の特色について、①城下町故、殿様についているあらゆる職種の職人さんがいる。②大野は町の至るところで水が湧き、水を使った産業が力を持っている。③色々な職種の産業が発展しているが、逆に伝統が近代化を遅らせている。④情報発信力が弱い。大野は歴史と文化の町なので、大野藩から受け継がれた刀装具など個人のコレクションがかなりあると言われている。それが宝として埋もれているので、お宝の棚卸しをして整理して可能な限り外に出していくのが良いと提案した。

講演前に市街を見て歩いた須田氏は、大野は独特の味わいがありコンパクトに纏まっている印象を受けたことから、「街を見て歩くこと」が観光として成り立つと語った。会場となった大野商工会議所の建物も「北陸の小京都」と呼ばれる街にマッチしており、さらに瓦屋根の木造の建物と入り口にかかる暖簾の様を風情があると絶賛した。

大野市が観光としてもっと発展するには、売りとしてブランド作りが必要であるから、大野は大野で地元の皆でアイデアを出し、ストーリーを作り、演出し、情報を全国に発信することを考えると良い観光地になることは間違いないと断言した。須田氏は初めて訪れた北陸の街の、これからの観光イメージを好印象として語り、講演を終えた。

海事立国フォーラム in 松山 2019

海事立国フォーラム in 松山 2019 10月29日(火) 松山で開催

公益財団法人日本海事センター(小幡政人会長)は、10月29日14時より、愛媛県松山市の国際ホテル松山にて「海事立国フォーラム in 松山 2019 ～海と共に未来へ～」を開催します。

講演 国交省 海事局長 大坪新一郎氏「海環境と安全を守れ!」
作家・文芸評論家 株式会社いそごい地域経済研究センター 主席研究員 岡山典弘氏「海から見た愛媛の歴史 ～戦いの海から“平和と繁栄の海へ”～」

日本海事センターの調査研究報告

「外航海運と船員」企画研究部 野村主任研究員

フォーラム終了後に懇親パーティーを開きます。
事前登録制・無料・どなたでもご参加いただけます。

【参加お問合せ】日本海事センター企画研究部 電話 03(3263)9421

受付締め切り
令和元年
10月18日(金)
《必着》申込みは FAX
又はメールで
▼案内サイト(短縮URL)
<https://00m.in/SykyZ>

アメリカごぼれ話 63 強欲な鉄道王たち

元 JTB 取締役 北村 嵩

“ビッグ4”と呼ばれ、大陸横断鉄道の建設を成功させて空前の大金持ちになった鉄道王たちがいる。スタンフォード大学を設立したリーランド・スタンフォード、サンフランシスコに自分の名前をつけたホテルを建てたマーク・ホプキンス、ロス郊外パサデナに図書館を寄贈し、美しいビーチに名前を残すコリス・ハンチントン、そして、中国人を大量に線路工夫に採用したチャールズ・クロッカーである。この4人は、大陸横断鉄道を完成させたセントラル・パシフィック鉄道(CP)の共同経営者である。

1848年にカリフォルニアで金鉱が発見されゴールドラッシュが起こった。簡単に金持ちになれるという噂は、当時まだ主に東海岸に居住していたアメリカ人の間に広まり、多くの人たちがカリフォルニアに押し寄せた。当時のカリフォルニアは“地の果て”で、到達するには大変な困難が伴った。第1の方法は陸路でアメリカ大陸3200キロを徒歩か馬車で横断する方法。険しい山越え、水のない砂漠の横断、そしてインディアンの襲撃が待ちうけていた。クロッカーはこの方法をとった。第2の方法は船で南米最南端を回航する方法で6ヶ月以上掛かった。費用が高いうえに船酔いの他、食料や水の腐敗にも悩まされた。ホプキンスはこの方法でサンフランシスコに入った。第3のルートは狭いパナマ地峡を徒歩で横断し太平洋側から別の船に乗り込む方法で、熱帯雨林の中を蚊や蛭、湿地の熱病などと戦い、何ヶ月も不潔な宿で船を待たなければならない。ハンチントンとスタンフォードはこの方法をとった。4人は直接金を掘ったわけではなく、サクラメントで衣料品店や雑貨店を開き、鉱夫相手にシャベル、爆薬など鉱山用品を販売して商売をし、繁盛していた。

4人が大陸横断鉄道事業を推進するため会社を設立したのは南北戦争真っ最中の1861年である。時の大統領リンカーンは、この横断鉄道は国民の団結のために必要であるとする推進擁護者で、62年には鉄道法が認可され、無償の土地と政府貸付金の提供が約束された。しかし戦争下で、軍に兵器を売ればすぐに儲かるのに、誰が乗るか分からないような無謀で夢のような鉄道に投資しようとする投資家は少なく、資金が大幅に不足してしまった。困ったCPは、国会から多額の貸付金と土地の交付を引き出すためハンチントンをワシントンに派遣した。最後に残った資金で議員を買収して、鉄道法をより有利に改正させようと働きかけたのだ。その結果、64年に改定法案が国会を通過し、土地無償交付は倍増した。連邦政府の貸付金は平地で1キロにつき1万ドル、山岳地帯では3万ドルであった。3万ドルもらえる部分を増やすため、地理学者を抱え込み、山脈を実際よりも38キロ西側にありとの報告書を提出させ100万ドル以上余計に手にいれたり、不必要に蛇行して線路を敷設して貸付金を増大させたりした。この時代は、マーク・トウェインが“金びかの時代”(ギルテッドエイジ)と呼んで汚職、買収が横行した腐敗の時期で、俗悪な方法で莫大な財産を築く人が続出した時代でもある。彼らは悪辣だったが、潔癖な者たちには、この壮大な横断鉄道事業は成しえなかったかもしれない。

再び消費増税の愚

小田急電鉄株式会社 特別社友 利光 國夫

安倍政権は先の参議院選挙で信任を得たと称して、10月から消費増税を予定通り実施するようだ。確かに自民党は第一党ではある。しかしながら実質得票率は、全投票率48.8%×自民得票率37%=18.1%に過ぎない。自民党史上最長在任記録を誇る首相としては、あまり自慢できる数字ではないだろう。これは経済面を始め野党側が明確かつ合理的な対立策を示せず、軽減税率を享受する新聞を始めマスコミ全体が我が国の問題を分析批判する能力も意欲も低く、国民各自も政治経済をきちんと知ろうという姿勢を欠いているからだろう。インターネットではかなり活発な論議がなされているが、残念ながら未だ国民全体に浸透するまでに至っていない。

前回述べたように、消費税は社会保障の強化充実などに使われていない。そもそも今回の消費増税は、野田民主党内閣の下でいわゆる財政再建策として三党合意されたもので、国の借金返済が目的なのだ。しかし我が国の国債による借金は、今のところ返済を急ぐ必要はない。それどころか、建設国債、特定財源国債などによって国土強靱化投資を実施して需要と雇用を喚起しなければならない。

先頃の西日本豪雨災害には「岡山県真備町の水害は、支流が本流の蛇行地点で合流しているのを直線化する工事をしていれば防げたことは10年前から分かっていた」との指摘があり、政府、自治体の緊縮財政方針による治水対策不作為で被害を受けたとして住民が損害賠償の訴えをおこしている。一説によると、我が国の橋梁は年間約1万本が老朽化して修理を要するのだが、現状の予算規模では千本しか修理できないといわれている。これも財政均衡至上主義による、緊縮財政政策の結果なのだ。

消費税は一見公平なようで、実は極めて不公平であることは前回も述べた通りだが、私が最近得た手元の資料によると、税による所得再配分効果は、OECD21カ国中我が国が最下位だ。(所得税最高税率、池田内閣時75%、現在45%)

「日本は先進国中最悪の財政赤字」「欧米諸国並みに20%以上の消費税率が必要」とマスコミは財務省のプロパガンダを連日垂れ流すが、いずれも大嘘だ。我が国の負債は1100兆円だが、資産が650兆円、国民の貯蓄が1800兆円、対外債権が350兆円世界一である。我が国の消費税率は低いというが、付加価値税20%の英国では、食料品・上下水道・運賃・処方薬・医療品・子供衣料などはゼロ課税、家庭用燃料・電気代は5%課税だ。フランスは、消費税率20%だが、医療費・教育費・郵便料などはゼロ課税、水・ノンアルコール飲料・食品・書籍は5%課税となっている。

約20年間で我が国の家計年収は10%ほど減少しているが、これは先進国中日本のみだ。消費を増やす余地のない低所得者層と、消費性向の低い高所得者層の増大は有効需要の拡大をもたらさない。先頃遂にIMFも日本に対し需要喚起策を進言したが、ここで消費増税を実施したならば、我が国の経済は更なる泥沼にはまることだろう。

観光と鉄道 (14)

飯田線の歴史と観光の魅力 (2)

飯田線は概ね三区間にわけて乗客の流れが変わる。豊橋―本長篠(中部天竜)間は、豊橋、豊川両都市の近郊路線で乗客も多く民鉄を継承したこともあって、豊橋―豊川間は複線(豊橋―平井<信号場>間では上り名鉄線、下りJR線の珍しい異社共同複線)区間で昼間も15分間隔運転だ。

中部天竜・天竜峡間は静岡・愛知・長野3県の県境地域で、佐久間ダムによる付替動線を含むけわしい地形を縫って走る。沿線人口も少く「何もない秘境駅」として観光客を集める。小和田・金野・唐笠等の各駅はすべてこの区間にある。それだけに緑豊かな自然の中を走る区間だ。



JR東海 飯田線

天竜峡からは伊那谷を縦走、飯田・駒ヶ根・伊那の3市とその近郊を天竜川沿いに北上する。温泉や花の名所、史跡等、観光名所も多いが、中央道と完全平行しているのでバスとの連携が必要な区間でもある。伊那市以北は諏訪

地域の近郊路線の特性が強く。豊橋側ほどではないが、乗客数も多くなる。辰野で飯田線は終わるが接続の中央線<JR東日本>が岡谷―塩尻間の新線塩嶺トンネル経由がメインラインとなったので飯田線の列車はそのまま中央線に乗入れ岡谷まで直通する。一部の列車はさらに松本、長野、上諏訪、茅野まで足を伸ばす。

飯田線は豊川稲荷、鳳来寺、長篠城址、高遠城跡等、伝統的な観光地のほか、近時開発の進みリゾート施設、舟下りで名高い天竜峡、湯谷温泉など多くの温泉、さらには近年ブームになってきた秘境駅などのある長大観光路線といえよう。

豊橋―飯田間特急「ワイドビュー伊那路」、飯田―長野<松本>間の快速「みすず」、さらには季節運行の臨時急行「秘境駅」<豊橋―飯田間>など、観光客むけの列車も運行され、近年観光客に人気の高まってきた路線といえよう。(完)



ワイドビュー伊那路

写真提供：交通新聞社

NEW SPOT in Japan 76

原美術館 ARC

現代美術の展示で関心を集める東京都品川区の原美術館は建物老朽化のため2020年12月末に閉館し、翌年から群馬県渋川市の別館「ハラミュージアムパーク」を「原美術館 ARC(パーク)」と改名して作品と発表の拠点に集約する。国際交流の架け橋となるよう虹を意味するアルカンシエール(arc-en-ciel)美術財団を設立した美術収集家の原俊夫さん(84)は1979年に「原美術館」本館を、88年に別館を開館し、芸術振興の多彩な活動に努めてきた。ARCの名前はアートセンター(ARt Center)から取り、財団名にもなぞらえた。

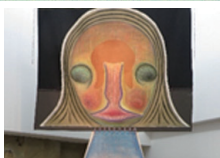
品川の本館は俊夫さんの祖父・原邦造(1883―1958年)が戦前に建てた私邸を再生利用し、白亜を基調に弧を描く鑑賞空間が目玉された。80年の歳月を経て改修増築を繰り返したが、バリアフリーなどの問題も重なり、一般公開する美術館として維持しにくい状況となった。邦造は電源開発総裁、日本航空や室町物産(現・三井物産)の会長などを歴任、邦造の養父・原六郎(1842―1933年)は明治・大正の実業界で活躍し横浜正金銀行頭取にもなり、美術品収集に熱心だった。原コレクションは1千点を超す。

榛名山麓にあるARCは磯崎新の設計で黒の色調に三角屋根の建物が周囲の豊かな緑に溶け込む。人気の草間彌生や東



群馬・渋川の原美術館ARC正面とガラス製ハート型の野外オブジェ

いも芋の作品をほぼ常設として長期展示し、現代美術の企画展などを開催。2008年に増築した特別展示室「観海庵」で東洋古美術なども紹介する。講演会など教育普及プログラムに加え、開架式収蔵庫で専門調査研究の機会を提供し、愛好家向けに収蔵庫ツアーを開く。都心の本館と対照的に高原リゾート地のARCは伊香保温泉が近く、グリーン牧場に隣接し保養や観光客たちにも人気だ。現代美術家・加藤泉が植物や人間の不思議な生命体を表現する造形「LIKE A ROLLING SNOWBALL」展を20年1月13日まで品川と渋川で同時開催中だ。



加藤泉展から＝品川・原美術館で

文・写真 林 莊祐

観光の縮図 アンテナショップめぐり ⑧ 「まるごと高知」 高知県アンテナショップ



高知県のアンテナショップ「まるごと高知」は銀座1丁目にある。この辺りは銀座2丁目にある石川県を含めて、沖縄県、広島県、茨城県、山形県、福井県、そして高知県の7県のアンテナショップが集まっているアンテナショップの激戦地である。このアンテナショップが集まっているという地の利を生かしてライバルでもある近隣のアンテナショップと共同で、地酒など様々なテーマでアンテナショップ巡りなどのイベントを開催している。

「まるごと高知」は今年の8月21日に、開設9周年を迎え、当日は様々なイベントが開催された。案内して頂いた店長の佐々木誠さんによると、「まるごと高知」は高知県地産外商公社によって運営されており、開設時のコンセプトは、高知県の産物をスーパーマーケットや小売店にセールスする時の拠点と、サンプルを展示する場所としての役割を担っていた。いまでもその役割を続けつつ、一般の消費者や在京高知県出身者向けの品揃えを充実させてアンテナショップ機能を拡充させている。



芋ケンピ

店舗は1階で、産地直送の野菜をはじめ、高知の果物、魚、肉を使った加工品や名産品が販売されており、土佐名物の冷凍されたカツオのたたきが人気を集めている。店長によると一番人気は“おかずしょうが”で、地元では当たり前すぎて余り売れないが首都圏では評判が高いそうだ。その他では、“赤かつお”“うまかつお”などのおかず品、“芋ケンピ”“や”ミレービスケット“などの菓子類も良く売れているという。

2階は伝統土佐料理を基本にしたレストラン「TOSA DINING おきゃく」になっており、高知の食材を使用した料理が提供される。

ここでの人気メニュー“カツオのたたき”は店内で薫焼きされて提供されている。取材した時間は昼食時間にかかっており、店内



2階のレストラン「TOSA DINING おきゃく」

はほぼ満員で、女性の小グループや近隣のサラリーマンなどで溢れていた。地下1階は、“土佐鶴”“司牡丹”など県内全18歳元の日本酒や焼酎など300種類のお酒が揃って展示販売されており、カウンターで試飲することが出来る。その他、土佐和紙、檜の木材を使用した工芸品、陶器で土佐独特の日本酒用おちょこ“可杯(べくはい)”などが販売されている。べくはいとは、置くと傾いてしまい酒がこぼれてしまう杯で、酒豪の多い高知では、お酒を楽しむ酒盛りの席の座興で、飲みほさなければいけない下に置くことができないこのような杯がよく使われているという。このフロアには観光案内のコーナーと移住相談コーナー(毎週月曜開催)がある。観光案内コーナーには専任のスタッフが常駐しており、足摺岬から室戸岬、四万十川など広域に広がる県内の有名観光地の案内や情報提供を行っている、年間に1,200件ほどの相談があるという。各観光地のパンフレットを揃えており、行事や祭などの情報も随時展示している。

銀座という土地柄インバウンドの客も訪れるが、中国、観光の観光客はアンテナショップという認識ではなく、日本の商品の販売店と思って訪れている人が多く、消費額はそれほど多くない。



人気 NO1 おかずしょうが



B1階 お酒コーナー



2階のレストラン「TOSA DINING おきゃく」個室



住所：東京都中央区銀座1-3-13 オーププレミア
営業時間：B1とさ蔵 / 1Fとさ市 10:30~20:00(年中無休)

案内地図はWebサイト「マピオン」の表示画像に案内表記を加えています